

第三者評価共通評価基準（児童養護施設解説版）改定について（新旧対照表）

| 改正後 | 現行 |
|---|---|
| I 養育・支援の基本方針と組織 I-1 理念・基本方針 I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。 | I 養育・支援の基本方針と組織 I-1 理念・基本方針 I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。 |
| 1 I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。 | 1 I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。 |
| 【判断基準】 (略) | 【判断基準】 (略) |
| 評価の着眼点 (略) | 評価の着眼点 (略) |
| 評価基準の考え方と評価の留意点 (1) 目的 (略) (2) 趣旨・解説 (略) (社会的養護共通) ○社会的養護は、児童が権利の主体であること、子どもの最善の利益をめざして行われることを職員が共通認識として理解していることが必要です。 (略) (3) 評価の留意点 (略) | 評価基準の考え方と評価の留意点 (1) 目的 (略) (2) 趣旨・解説 (略) (5種別共通) ○社会的養護は、児童が権利の主体であること、子どもの最善の利益をめざして行われることを職員が共通認識として理解していることが必要です。 (略) (3) 評価の留意点 (略) |

| 改正後 | 現行 |
|---|--|
| <p>○理念、基本方針は適切に明文化され、職員の理解のもとに養育・支援が提供されることが必要です。理念、基本方針が明文化されている場合であっても、職員に周知されていない場合は「<u>C</u>」評価とします。</p> <p>(略)</p> | <p>○理念、基本方針は適切に明文化され、職員の理解のもとに養育・支援が提供されることが必要です。理念、基本方針が明文化されている場合であっても、職員に周知されていない場合は「<u>C</u>」評価とします。</p> <p>(略)</p> |
| <p>I—2 経営状況の把握</p> <p>I—2—(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。</p> <p><u>2 I—2—(1)—① 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。</u></p> <p>【判断基準】</p> <p>(略)</p> | <p>I—2 経営状況の把握</p> <p>I—2—(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。</p> <p><u>2 I—2—(1)—① 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。</u></p> <p>【判断基準】</p> <p>(略)</p> |
| <p>評価の着眼点</p> <p>(略)</p> | <p>評価の着眼点</p> <p>(略)</p> |
| <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的 (略)</p> <p>(2) 趣旨・解説 (略)</p> <p><u>(社会的養護共通)</u></p> <p><u>○都道府県ごとに策定されている社会的養育推進計画の内容を十分に理解することも求められます。</u></p> <p>(3) 評価の留意点 (略)</p> | <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的 (略)</p> <p>(2) 趣旨・解説 (略)</p> <p><u>(新設)</u></p> <p>(3) 評価の留意点 (略)</p> |

| 改正後 | 現行 |
|---|---|
| <p>○施設経営をとりまく環境と経営状況を把握する目的は、環境変化に適切に対応した施設経営の維持や改善にあります。そこで、把握された情報やデータが、中・長期計画や各年度の事業計画に反映されていることが必要です。各計画に情報やデータが反映されなければ、その目的は達成されません。これらについては、「④ I－3－(1)－① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。」で評価します</p> | <p>○施設経営をとりまく環境と経営状況を把握する目的は、環境変化に適切に対応した施設経営の維持や改善にあります。そこで、把握された情報やデータが、中・長期計画や各年度の事業計画に反映されていることが必要です。各計画に情報やデータが反映されなければ、その目的は達成されません。これらについては、「I－3－(1)－① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。」で評価します。</p> |
| <p>③ I－2－(1)－② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めていく。</p> | <p>③ I－2－(1)－② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めていく。</p> |
| <p>【判断基準】 (略)</p> | <p>【判断基準】 (略)</p> |
| <p>評価の着眼点 (略)</p> | <p>評価の着眼点 (略)</p> |
| <p>評価基準の考え方と評価の留意点 (1) 目的 (略)</p> | <p>評価基準の考え方と評価の留意点 (1) 目的 (略)</p> |
| <p>(2) 趣旨・解説 ○② I－2－(1)－① 施設経営をとりまく環境と経営状況の把握・分析にもとづき、経営課題を明確にし、改善等に向けた具体的な取組が必要です。 (略)</p> | <p>(2) 趣旨・解説 ○ I－2－(1)－① 施設経営をとりまく環境と経営状況の把握・分析にもとづき、経営課題を明確にし、改善等に向けた具体的な取組が必要です。 (略)</p> |
| <p>(3) 評価の留意点 (略)</p> <p>○経営環境・状況が適切に把握・分析されていない場合 (② I－2－(1)－①が「c」評価の場合) は、「c」評価とします。</p> | <p>(3) 評価の留意点 (略)</p> <p>○経営環境・状況が適切に把握・分析されていない場合 (I－2－(1)－①が「c」評価の場合) は、「c」評価とします。</p> |

| 改正後 | 現行 |
|--|--|
| <p>○経営課題の解決・改善に向けた取組の計画化については、④ I—3—(1) —①で評価します。</p> <p>I—3 事業計画の策定 I—3—(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。</p> <p>④ I—3—(1) —① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。</p> <p>【判断基準】 (略)</p> | <p>○経営課題の解決・改善に向けた取組の計画化については、 I—3—(1) —①で評価します。</p> <p>I—3 事業計画の策定 I—3—(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。</p> <p>④ I—3—(1) —① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。</p> <p>【判断基準】 (略)</p> |
| <p>評価の着眼点 (略)</p> | <p>評価の着眼点 (略)</p> |
| <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的 (略)</p> <p>(2) 趣旨・解説 (略)</p> <p>(社会的養護共通) <u>○施設長等の管理職のみが経営状況を把握し、改善点や課題を認識して施設の将来像を構想するだけでは不十分であり、具体的に中・長期計画として明文化し、将来の目標（ビジョン）を職員や関係者に周知することが必要です。</u></p> <p>(社会的養護共通) <u>○都道府県の定める社会的養育推進計画等をもとに、施設の単年度の事業計画のみならず、地域特性に応じて、施設が捉える社会的動向や利用者層の変化などを踏まえながら、中長期的なビジョンを持つことが必要です。とくに社会的養育推進計画において、施設の高機能化・多</u></p> | <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的 (略)</p> <p>(2) 趣旨・解説 (略)</p> <p>(新設)</p> <p>(新設)</p> |

| 改正後 | 現行 |
|---|--|
| <p><u>機能化を進めることとされており、施設として今後、明確なビジョンをもって施設運営していくことが重要です。</u></p> <p><u>(社会的養護共通)</u></p> <p>○施設の高機能化・多機能化の取り組みとしては、<u>里親の支援（里親への研修の実施や里親からの相談の受付、週末里親の調整等）、一時保護委託の体制整備、地域の子育て支援（在宅支援やショートステイ、トワイライトステイ等）、退所児童の自立支援等</u>が考えられます。</p> <p>(略)</p> <p>(3) 評価の留意点 (略)</p> <p><u>(児童養護施設)</u></p> <p>○公立施設については、施設長に与えられた職掌の範囲を考慮したうえで、本評価基準の基本的考え方方にそった具体的な取組を評価します。</p> <p>5 I—3—(1)—② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。</p> <p>【判断基準】 (略)</p> <p>評価の着眼点 (略)</p> <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的 (略)</p> <p>(2) 趣旨・解説 (略)</p> | <p><u>(新設)</u></p> <p>(略)</p> <p>(3) 評価の留意点 (略)</p> <p>○公立施設については、施設長に与えられた職掌の範囲を考慮したうえで、本評価基準の基本的考え方方にそった具体的な取組を評価します。</p> <p>5 I—3—(1)—② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。</p> <p>【判断基準】 (略)</p> <p>評価の着眼点 (略)</p> <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的 (略)</p> <p>(2) 趣旨・解説 (略)</p> |

| 改正後 | 現行 |
|---|---|
| (3) 評価の留意点 (略) ○中・長期計画が策定されていない場合 (4 I-3-(1)-①が「c評価」の場合) は、「c」評価とします。 | (3) 評価の留意点 (略) ○中・長期計画が策定されていない場合 (I-3-(1)-①が「c評価」の場合) は、「c」評価とします。 |
| I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。 | I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。 |
| <u>6 I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。</u> | <u>6 I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。</u> |
| 【判断基準】 (略) | 【判断基準】 (略) |
| 評価の着眼点 (略) | 評価の着眼点 (略) |
| 評価基準の考え方と評価の留意点 | 評価基準の考え方と評価の留意点 |
| (1) 目的 (略) | (1) 目的 (略) |
| (2) 趣旨・解説 (略) | (2) 趣旨・解説 (略) |
| (社会的養護共通) ○勤務上、職員に直接の説明が出来ない状況にある場合の周知方法として、メールで配信する、見やすい場所に掲示する等に加えて、より理解促進をはかるための取組が必要です。 | (5種別共通) ○勤務上、職員に直接の説明が出来ない状況にある場合の周知方法として、メールで配信する、見やすい場所に掲示する等に加えて、より理解促進をはかるための取組が必要です。 |
| (3) 評価の留意点 (略) | (3) 評価の留意点 (略) |
| <u>7 I-3-(2)-② 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。</u> | <u>7 I-3-(2)-② 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。</u> |

| 改正後 | 現行 |
|--|--|
| <p>【判断基準】 (略)</p> | <p>【判断基準】 (略)</p> |
| <p>評価の着眼点 (略)</p> | <p>評価の着眼点 (略)</p> |
| <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的 (略)</p> <p>(2) 趣旨・解説 <u>(5種別共通)</u> ○事業計画は、<u>基本的な生活習慣、遊びや余暇活動、生活住環境等、子どもの生活に密接にかかわる事項も多数あることから、行事の周知のみならず、事業計画の主な内容を子どもや保護者等に周知し、理解を促すための取組を行うことが必要です。</u> (略)</p> <p>(3) 評価の留意点 (略)</p> <p><u>(児童養護施設)</u> ○たとえば、<u>子どもが集まる機会に説明を行う、子ども向けの資料の作成、年齢に応じた工夫を行う等も考えられます。</u> (略)</p> <p><u>(児童養護施設)</u></p> | <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的 (略)</p> <p>(2) 趣旨・解説 ○事業計画は、<u>子どもや保護者等への養育・支援に関わる事項でもあり、事業計画の主な内容については、子どもや保護者等に周知し、理解を促すための取組を行うことが必要です。</u> (略)</p> <p>(3) 評価の留意点 (略)</p> <p><u>(新設)</u></p> |
| | |

| 改正後 | 現行 |
|--|--|
| <p>○保護者に対して周知していない場合については、児童福祉法28条による入所措置など、周知していない根拠があるかを確認するとともに、適切な判断がなされているかを確認します。</p> <p>(略)</p> <p>I—4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組 I—4—(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。</p> <p>(略)</p> <p>II 施設の運営管理 II—1 施設長の責任とリーダーシップ II—1—(1) 施設長の責任が明確にされている。</p> <p>(略)</p> <p>II—1—(2) 施設長のリーダーシップが發揮されている。</p> <p><u>12 II—1—(2)—① 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を發揮している。</u></p> <p>【判断基準】 (略)</p> <p>評価の着眼点</p> <p>(略)</p> <p>(社会的養護共通) □施設長は、職員の模範となるように、自己研鑽に励み、専門性の向上に努めている。</p> <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的</p> | <p>(略)</p> <p>I—4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組 I—4—(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。</p> <p>(略)</p> <p>II 施設の運営管理 II—1 施設長の責任とリーダーシップ II—1—(1) 施設長の責任が明確にされている。</p> <p>(略)</p> <p>II—1—(2) 施設長のリーダーシップが發揮されている。</p> <p><u>12 II—1—(2)—① 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を發揮している。</u></p> <p>【判断基準】 (略)</p> <p>評価の着眼点</p> <p>(略)</p> <p>(5種別共通) □施設長は、職員の模範となるように、自己研鑽に励み、専門性の向上に努めている。</p> <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的</p> |

| 改正後 | 現行 |
|--|--|
| <p>(略)</p> <p>(2) 趣旨・解説 (略)</p> <p>(3) 評価の留意点 (略)</p> <p>(社会的養護共通) ○本評価基準では、自己評価や第三者評価の受審に基づく取組だけではなく、施設の実情に応じて「評価の着眼点」に示すような多様な取組を行っていることを評価します。</p> <p>(略)</p> | <p>(略)</p> <p>(2) 趣旨・解説 (略)</p> <p>(3) 評価の留意点 (略)</p> <p>(5種別共通) ○本評価基準では、自己評価や第三者評価の受審に基づく取組だけではなく、施設の実情に応じて「評価の着眼点」に示すような多様な取組を行っていることを評価します。</p> <p>(略)</p> |
| <p>13 Ⅱ—1—(2)—② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。</p> <p>(略)</p> | <p>13 Ⅱ—1—(2)—② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。</p> <p>(略)</p> |
| <p>Ⅱ—2 福祉人材の確保・育成</p> <p>Ⅱ—2—(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。</p> | <p>Ⅱ—2 福祉人材の確保・育成</p> <p>Ⅱ—2—(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。</p> |
| <p>14 Ⅱ—2—(1)—① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。</p> <p>【判断基準】 (略)</p> | <p>14 Ⅱ—2—(1)—① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。</p> <p>【判断基準】 (略)</p> |
| <p>評価の着眼点 (略)</p> <p>(社会的養護共通)</p> | <p>評価の着眼点 (略)</p> <p>(5種別共通)</p> |

| 改正後 | 現行 |
|--|--|
| <p>□各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。</p> | <p>□各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。</p> |
| <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> | <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> |
| <p>(1) 目的 (略)</p> | <p>(1) 目的 (略)</p> |
| <p>(2) 趣旨・解説 (略)</p> | <p>(2) 趣旨・解説 (略)</p> |
| <p>(社会的養護共通) ○職員が、各職種の専門性や役割を理解し合い、互いに連携して施設として養育・支援に取り組む体制が確立していることが大切です。 (略)</p> | <p>(5種別共通) ○職員が、各職種の専門性や役割を理解し合い、互いに連携して施設として養育・支援に取り組む体制が確立していることが大切です。 (略)</p> |
| <p>(3) 評価の留意点 (略)</p> | <p>(3) 評価の留意点 (略)</p> |
| <p><u>15 II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。</u></p> | <p><u>15 II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。</u></p> |
| <p>【判断基準】 (略)</p> | <p>【判断基準】 (略)</p> |
| <p>評価の着眼点 (略)</p> | <p>評価の着眼点 (略)</p> |
| <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的 (略)</p> <p>(2) 趣旨・解説 (略)</p> | <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的 (略)</p> <p>(2) 趣旨・解説 (略)</p> |

| 改正後 | 現行 |
|--|--|
| <p>(3) 評価の留意点 (略)</p> <p>○能力開発（育成）における、目標管理制度については⑯ Ⅱ-2-(3)-①、教育・研修制度については⑰ Ⅱ-2-(3)-②、⑲ Ⅱ-2-(3)-③で評価します。</p> | <p>(3) 評価の留意点 (略)</p> <p>○能力開発（育成）における、目標管理制度についてはⅡ-2-(3)-①、教育・研修制度についてはⅡ-2-(3)-②、③で評価します。</p> |
| <p>Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。</p> | <p>Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。</p> |
| <p>16 Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。</p> <p>【判断基準】 (略)</p> | <p>16 Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。</p> <p>【判断基準】 (略)</p> |
| <p>評価の着眼点 (略)</p> | <p>評価の着眼点 (略)</p> |
| <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的 (略)</p> <p>(2) 趣旨・解説 (略)</p> <p><u>(社会的養護共通)</u></p> <p>○特にメンタルヘルスに関しては、職員保護の観点からも、相談窓口の設置のみならず、日頃から相談しやすい体制を整えたり、定期的に面談等を行う機会を設けたりするなど、事業所が組織として対応する体制を整えることが必要です。</p> | <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的 (略)</p> <p>(2) 趣旨・解説 (略)</p> <p><u>(新設)</u></p> |
| <p>(略)</p> | <p>(略)</p> |

| 改正後 | 現行 |
|---|--|
| (3) 評価の留意点 (略) (社会的養護共通) ○職員の心身の健康と安全の確保に関する取組については、困難なケースの抱え込みの防止や休息の確保などを含めて確認します。 II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。 | (3) 評価の留意点 (略) (5種別共通) ○職員の心身の健康と安全の確保に関する取組については、困難なケースの抱え込みの防止や休息の確保などを含めて確認します。 II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。 |
| 17 II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。 | 17 II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。 |
| 【判断基準】 (略) | 【判断基準】 (略) |
| 評価の着眼点 (略) | 評価の着眼点 (略) |
| 評価基準の考え方と評価の留意点 (1) 目的 (略) (2) 趣旨・解説 (略) (社会的養護共通) ○職員一人一人が目標を持ち、成長を続けることで、質の高い福祉サービスの提供をし続けることが期待されます。 (略) (3) 評価の留意点 (略) | 評価基準の考え方と評価の留意点 (1) 目的 (略) (2) 趣旨・解説 (略) (新設) (略) (3) 評価の留意点 (略) |

| 改正後 | 現行 |
|--|--|
| <p><u>18 Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。</u></p> <p>(略)</p> | <p><u>18 Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。</u></p> <p>(略)</p> |
| <p><u>19 Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。</u></p> <p>【判断基準】</p> <p>(略)</p> | <p><u>19 Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。</u></p> <p>【判断基準】</p> <p>(略)</p> |
| <p>評価の着眼点</p> <p>(略)</p> <p>(社会的養護共通)</p> <p>□スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。</p> | <p>評価の着眼点</p> <p>(略)</p> <p>(5種別共通)</p> <p>□スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。</p> |
| <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的 (略)</p> <p>(2) 趣旨・解説 (略)</p> <p>(社会的養護共通)</p> <p>○スーパービジョンの体制として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的にテーマを設定してスーパービジョンを行う仕組みをつくる ・施設長、基幹的職員などにいつでも相談できる体制をつくる ・職員がひとりで問題を抱え込まないように、組織として対応する ・職員相互が評価し、助言し合うことを通じて、職員一人ひとりが援助技術を向上させ、施設全体の養育・支援の質を向上させるといった取組が考えられます。 | <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的 (略)</p> <p>(2) 趣旨・解説 (略)</p> <p>(5種別共通)</p> <p>○スーパービジョンの体制として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的にテーマを設定してスーパービジョンを行う仕組みをつくる ・施設長、基幹的職員などにいつでも相談できる体制をつくる ・職員がひとりで問題を抱え込まないように、組織として対応する ・職員相互が評価し、助言し合うことを通じて、職員一人ひとりが援助技術を向上させ、施設全体の養育・支援の質を向上させるといった取組が考えられます。 |

| 改正後 | 現行 |
|--|--|
| <p>(略)</p> <p>(3) 評価の留意点</p> <p>(略)</p> <p>(社会的養護共通)</p> <p>○階層別研修では、教育・研修の計画に新任職員研修も含め段階的な教育・研修が設定されているか確認します。</p> <p>(略)</p> | <p>(略)</p> <p>(3) 評価の留意点</p> <p>(略)</p> <p>(5種別共通)</p> <p>○階層別研修では、教育・研修の計画に新任職員研修も含め段階的な教育・研修が設定されているか確認します。</p> <p>(略)</p> |
| <p>II-2-(4) 実習生等の養育・支援に関する専門職の研修・育成が適切に行われている。</p> | <p>II-2-(4) 実習生等の養育・支援に関する専門職の研修・育成が適切に行われている。</p> |
| <p>(略)</p> <p>II-3 運営の透明性の確保</p> <p>II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。</p> <p>21 II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。</p> | <p>(略)</p> <p>II-3 運営の透明性の確保</p> <p>II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。</p> <p>21 II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。</p> |
| <p>【判断基準】</p> <p>(略)</p> | <p>【判断基準】</p> <p>(略)</p> |
| <p>評価の着眼点</p> <p>(略)</p> | <p>評価の着眼点</p> <p>(略)</p> |
| <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的</p> <p>(略)</p> <p>(2) 趣旨・解説</p> <p>(略)</p> | <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的</p> <p>(略)</p> <p>(2) 趣旨・解説</p> <p>(略)</p> |

| 改正後 | 現行 |
|--|---|
| <p>(3) 評価の留意点 (略)</p> <p>○「地域の福祉向上のための取組の実施状況」については、Ⅱ-4- (3) 「地域の福祉向上のための取組を行っている。」<u>(26) (27)</u> で評価する事項が適切に公開されているか確認します。</p> <p><u>22 Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。</u> (略)</p> <p><u>Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献</u> <u>Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。</u></p> <p><u>23 Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。</u></p> <p>【判断基準】 (略)</p> | <p>(3) 評価の留意点 (略)</p> <p>○「地域の福祉向上のための取組の実施状況」については、Ⅱ-4- (3) 「地域の福祉向上のための取組を行っている。」で評価する事項が適切に公開されているか確認します。</p> <p><u>22 Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。</u> (略)</p> <p><u>Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献</u> <u>Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。</u></p> <p><u>23 Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。</u></p> <p>【判断基準】 (略)</p> |
| <p>評価の着眼点 (略)</p> <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的 (略)</p> <p>(2) 趣旨・解説 (略)</p> <p>(社会的養護共通)</p> | <p>評価の着眼点 (略)</p> <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的 (略)</p> <p>(2) 趣旨・解説 (略)</p> <p>(5種別共通)</p> |

| 改正後 | 現行 |
|---|---|
| <p>○子どもの地域との交流を広げるために、施設の職員等が町内会や子ども会等、地域の諸団体の役員等として活動することも有効な手段です。（但し、支援形態によって差が生じることを考慮します。）</p> <p>（略）</p> | <p>○子どもの地域との交流を広げるために、施設の職員等が町内会や子ども会等、地域の諸団体の役員等として活動することも有効な手段です。（但し、支援形態によって差が生じることを考慮します。）</p> <p>（略）</p> |
| <p>（3）評価の留意点</p> <p>（略）</p> | <p>（3）評価の留意点</p> <p>（略）</p> |
| <p><u>24 Ⅱ-4-（1）-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。</u></p> <p>（略）</p> | <p><u>24 Ⅱ-4-（1）-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。</u></p> <p>（略）</p> |
| <p><u>Ⅱ-4-（2） 関係機関との連携が確保されている。</u></p> | <p><u>Ⅱ-4-（2） 関係機関との連携が確保されている。</u></p> |
| <p><u>25 Ⅱ-4-（2）-① 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。</u></p> | <p><u>25 Ⅱ-4-（2）-① 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。</u></p> |
| <p>【判断基準】</p> <p>（略）</p> | <p>【判断基準】</p> <p>（略）</p> |
| <p>評価の着眼点</p> <p>（略）</p> | <p>評価の着眼点</p> <p>（略）</p> |
| <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>（1）目的 （略）</p> <p>（2）趣旨・解説 （略）</p> <p>（3）評価の留意点 （略）</p> | <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>（1）目的 （略）</p> <p>（2）趣旨・解説 （略）</p> <p>（3）評価の留意点 （略）</p> |

| 改正後 | 現行 |
|---|---|
| <p>(社会的養護共通)</p> <p>○退所が近い子どもの自立支援計画に退所後の生活の見立てが書かれていることを確認するとともに、養育・支援の継続性を念頭においた関係機関・団体との連携の状況について、養育・支援の記録や聞き取りなどから確認します。</p> <p>(略)</p> <p>II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。</p> <p><u>26 II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。</u></p> <p>【判断基準】</p> <p>(略)</p> | <p>(5種別共通)</p> <p>○退所が近い子どもの自立支援計画に退所後の生活の見立てが書かれていることを確認するとともに、養育・支援の継続性を念頭においた関係機関・団体との連携の状況について、養育・支援の記録や聞き取りなどから確認します。</p> <p>(略)</p> <p>II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。</p> <p><u>26 II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。</u></p> <p>【判断基準】</p> <p>(略)</p> |
| <p>評価の着眼点</p> <p>(略)</p> <p>(社会的養護共通)</p> <p>□施設のもつ機能を地域へ還元したり、地域の関係機関・団体との連携等を通して、地域の具体的な福祉ニーズの把握に努めている。</p> <p>(5種別共通)</p> <p>□地域住民に対する相談事業などを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。</p> | <p>評価の着眼点</p> <p>(略)</p> <p>(新設)</p> <p>(新設)</p> |
| <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的 (略)</p> <p>(2) 趣旨・解説 (社会的養護共通)</p> | <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的 (略)</p> <p>(2) 趣旨・解説 (新設)</p> |

| 改正後 | 現行 |
|--|--|
| <p>○国は地域共生社会の実現をめざしています。誰もが役割をもち、お互いが配慮し存在を認め合い、そして時に支え合うことで、孤立せずにその人らしい生活を送ることができるような社会としていくことが求められています。こうした社会の実現に向けて、住民に身近な圏域で、住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくりが求められており、福祉施設・事業所としてそうした体制づくりに関わっていくことが大切です。</p> <p>(略)</p> <p>(児童養護施設)</p> <p>○施設の職員が積極的に地域に出向く取り組みを通じて地域住民が施設を身近に感じることで、地域住民の施設への理解が深まり、入所児や退所した子どもの支援に対し、住民から理解を得ることにつながります。</p> <p>(3) 評価の留意点</p> <p>(5種別共通)</p> <p>○社会福祉法第4条「地域福祉の推進」や第24条「経営の原則」等にも記載されている通り、措置施設であっても、社会福祉施設として地域のニーズを把握するとともに、把握したニーズにもとづく公益的な活動を実施していくことが求められます。</p> <p>(略)</p> | <p>(略)</p> <p>(新設)</p> <p>(3) 評価の留意点</p> <p>(新設)</p> <p>(略)</p> |
| <p>27 II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。</p> <p>【判断基準】</p> <p>(略)</p> <p>評価の着眼点</p> <p>(略)</p> | <p>27 II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。</p> <p>【判断基準】</p> <p>(略)</p> <p>評価の着眼点</p> <p>(略)</p> |

| 改正後 | 現行 |
|---|--|
| 評価基準の考え方と評価の留意点 | 評価基準の考え方と評価の留意点 |
| (1) 目的 (略) | (1) 目的 (略) |
| (2) 趣旨・解説 (略) | (2) 趣旨・解説 (略) |
| (社会的養護共通) ○新たな事業・活動や企画の実施の時には、必要に応じて子ども等に対して説明し、その意向を尊重していることも大切です。 | (5種別共通) ○新たな事業・活動や企画の実施の時には、必要に応じて子ども等に対して説明し、その意向を尊重していることも大切です。 |
| (3) 評価の留意点 (略) | (3) 評価の留意点 (略) |
| ○地域での公益的な事業・活動の情報発信については、 21 II—3—(1)—①で評価します。 | ○地域での公益的な事業・活動の情報発信については、II—3—(1)—①で評価します。 |
| III 適切な養育・支援の実施 | III 適切な養育・支援の実施 |
| III—1 子ども本位の養育・支援 | III—1 子ども本位の養育・支援 |
| III—1—(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。 | III—1—(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。 |
| 28 III—1—(1)—① 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。 (略) | 28 III—1—(1)—① 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。 (略) |
| 29 III—1—(1)—② 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。 | 29 III—1—(1)—② 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。 |
| 【判断基準】 (略) | 【判断基準】 (略) |
| 評価の着眼点 (略) | 評価の着眼点 (略) |

| 改正後 | 現行 |
|--|---|
| <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的 (略)</p> <p>(2) 趣旨・解説 (略)</p> <p>(3) 評価の留意点 (略)</p> <p>○個人情報保護は本評価基準にいうプライバシー保護には含みません。 45 III—2—(3)—②「子どもに関する記録の管理体制が確立している。」において評価します。</p> <p>III—1—(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。</p> <p>30 III—1—(2)—① 子どもや保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。 (略)</p> <p>31 III—1—(2)—② 養育・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。</p> <p>【判断基準】 (略)</p> <p>評価の着眼点 (略)</p> <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的</p> | <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的 (略)</p> <p>(2) 趣旨・解説 (略)</p> <p>(3) 評価の留意点 (略)</p> <p>○個人情報保護は本評価基準にいうプライバシー保護には含みません。 III—2—(3)—②「子どもに関する記録の管理体制が確立している。」において評価します。</p> <p>III—1—(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。</p> <p>30 III—1—(2)—① 子どもや保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。 (略)</p> <p>31 III—1—(2)—② 養育・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。</p> <p>【判断基準】 (略)</p> <p>評価の着眼点 (略)</p> <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的</p> |

| 改正後 | 現行 |
|---|---|
| <p>(略)</p> <p>(2) 趣旨・解説 (略)</p> <p>○説明にあたっては、前評価基準 (30) III—1—(2)—①) と同様に、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような資料を用いることが求められます。また、法令及び施設が定めた様式に基づいて、同じ手順・内容で行われることが必要です。</p> <p><u>(社会的養護共通)</u></p> <p>○子どもの自己決定にあたっては、必要に応じて子どもの気持ちに寄り添い、さまざまな状況において権利保障と子どもの利益が守られるような支援を選択できるよう自己決定のための支援を行う必要があります。</p> <p>(3) 評価の留意点 (略)</p> <p><u>32 III—1—(2)—③ 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。</u></p> <p>【判断基準】 (略)</p> <p>評価の着眼点 (略)</p> <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的 (略)</p> <p>(2) 趣旨・解説</p> | <p>(略)</p> <p>(2) 趣旨・解説 (略)</p> <p>○説明にあたっては、前評価基準 (III—1—(2)—①) と同様に、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような資料を用いることが求められます。また、法令及び施設が定めた様式に基づいて、同じ手順・内容で行われることが必要です。</p> <p><u>(5種別共通)</u></p> <p>○子どもの自己決定にあたっては、必要に応じて子どもの気持ちに寄り添い、さまざまな状況において権利保障と子どもの利益が守られるような支援を選択できるよう自己決定のための支援を行う必要があります。</p> <p>(3) 評価の留意点 (略)</p> <p><u>32 III—1—(2)—③ 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。</u></p> <p>【判断基準】 (略)</p> <p>評価の着眼点 (略)</p> <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的 (略)</p> <p>(2) 趣旨・解説</p> |

| 改正後 | 現行 |
|--|--|
| (略) | (略) |
| (社会的養護共通) ○社会的養護関係施設では、地域での生活や家庭復帰に向けて必要となる支援や、施設退所後のアフターケアが子どもの安定、安心した生活に欠かせないことから、各施設が有する専門性を活かした取組が求められます。 | (5種別共通) ○社会的養護関係施設では、地域での生活や家庭復帰に向けて必要となる支援や、施設退所後のアフターケアが子どもの安定、安心した生活に欠かせないことから、各施設が有する専門性を活かした取組が求められます。 |
| (略) | (略) |
| (3) 評価の留意点 (略) | (3) 評価の留意点 (略) |
| III—1—(3) 子どもの満足の向上に努めている。 | III—1—(3) 子どもの満足の向上に努めている。 |
| 33 III—1—(3)—① 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。 | 33 III—1—(3)—① 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。 |
| 【判断基準】 (略) | 【判断基準】 (略) |
| 評価の着眼点 (略) | 評価の着眼点 (略) |
| 評価基準の考え方と評価の留意点 (1) 目的 (略) (2) 趣旨・解説 (略) (社会的養護共通) ○施設における満足の把握は、子どもや保護者等の視点から施設を評価するもので、養育・支援を向上するために必要なプロセスです。子ど | 評価基準の考え方と評価の留意点 (1) 目的 (略) (2) 趣旨・解説 (略) (5種別共通) ○施設における満足の把握は、子どもや保護者等の視点から施設を評価するもので、養育・支援を向上するために必要なプロセスです。子ど |

| 改正後 | 現行 |
|---|---|
| <p>もや保護者等の視点からの評価であり、主觀的な内容も含まれますが、子どもの尊重を具体化する重要な取組の一つとなります。</p> <p>(社会的養護共通)</p> <p>○施設における満足は、日常生活において子どもの人格が尊重され、精神的・情緒的な安定と豊かな生活体験等により、よりよく生きることが保障されていることでもあります。</p> | <p>もや保護者等の視点からの評価であり、主觀的な内容も含まれますが、子どもの尊重を具体化する重要な取組の一つとなります。</p> <p>(5種別共通)</p> <p>○施設における満足は、日常生活において子どもの人格が尊重され、精神的・情緒的な安定と豊かな生活体験等により、よりよく生きることが保障されていることでもあります。</p> |
| <p>(社会的養護共通)</p> <p>○施設における満足は、養育・支援を含む生活全般に関わる状態や過程の把握、また、生活環境等の個別の領域ごとに把握する方法があります。当該施設において養育・支援の基本方針や子どもや保護者等の状態等を踏まえた考え方や方法により取組を進めます。</p> <p>(略)</p> | <p>(5種別共通)</p> <p>○施設における満足は、養育・支援を含む生活全般に関わる状態や過程の把握、また、生活環境等の個別の領域ごとに把握する方法があります。当該施設において養育・支援の基本方針や子どもや保護者等の状態等を踏まえた考え方や方法により取組を進めます。</p> <p>(略)</p> |
| <p>(3) 評価の留意点</p> <p>(略)</p> <p>III—1—(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。</p> <p>34 III—1—(4)—① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。</p> <p>(略)</p> <p>35 III—1—(4)—② 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。</p> <p>【判断基準】</p> <p>(略)</p> <p>評価の着眼点</p> <p>(略)</p> | <p>(3) 評価の留意点</p> <p>(略)</p> <p>III—1—(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。</p> <p>34 III—1—(4)—① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。</p> <p>(略)</p> <p>35 III—1—(4)—② 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。</p> <p>【判断基準】</p> <p>(略)</p> <p>評価の着眼点</p> <p>(略)</p> |

| 改正後 | 現行 |
|--|--|
| 評価基準の考え方と評価の留意点 | 評価基準の考え方と評価の留意点 |
| (1) 目的 (略) | (1) 目的 (略) |
| (2) 趣旨・解説 (略) | (2) 趣旨・解説 (略) |
| (3) 評価の留意点 (略) | (3) 評価の留意点 (略) |
| (社会的養護共通) ○子どもが自由に意見を表明できるよう、子どもと職員の関係づくりに取り組んでいるかどうか確認します。 | (5種別共通) ○子どもが自由に意見を表明できるよう、子どもと職員の関係づくりに取り組んでいるかどうか確認します。 |
| (社会的養護共通) ○普段の子どもの表情や態度からも気持ちや意見を読み取るように取り組んでいるかどうか確認します。 | (5種別共通) ○普段の子どもの表情や態度からも気持ちや意見を読み取るように取り組んでいるかどうか確認します。 |
| (社会的養護共通) ○発達段階や能力によって十分に意思を表明することができない子どもについて、権利擁護の観点から職員が代弁者としての役割を果たすよう努めているかどうか確認します。 | (5種別共通) ○発達段階や能力によって十分に意思を表明することができない子どもについて、権利擁護の観点から職員が代弁者としての役割を果たすよう努めているかどうか確認します。 |
| (社会的養護共通) ○相談や意見を述べる際に秘密が守られること、またそれを子どもが理解していることを確認します。 | (5種別共通) ○相談や意見を述べる際に秘密が守られること、またそれを子どもが理解していることを確認します。 |
| 36 Ⅲ—1—(4)—③ 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。 | 36 Ⅲ—1—(4)—③ 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。 |
| 【判断基準】 (略) | 【判断基準】 (略) |
| 評価の着眼点 | 評価の着眼点 |

| 改正後 | 現行 |
|--|--|
| (略) | (略) |
| 評価基準の考え方と評価の留意点 | 評価基準の考え方と評価の留意点 |
| (1) 目的 (略) | (1) 目的 (略) |
| (2) 趣旨・解説 (略) | (2) 趣旨・解説 (略) |
| (3) 評価の留意点 (略) | (3) 評価の留意点 (略) |
| (社会的養護共通) ○意見、要望、提案等への対応は、子どもと保護者等の意向をよく聴き、それに基づいているか確認します。 | (5種別共通) ○意見、要望、提案等への対応は、子どもと保護者等の意向をよく聴き、それに基づいているか確認します。 |
| Ⅲ—1—(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。 | Ⅲ—1—(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。 |
| 37 Ⅲ—1—(5)—① 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。 | 37 Ⅲ—1—(5)—① 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。 |
| 【判断基準】 (略) | 【判断基準】 (略) |
| 評価の着眼点 (略) | 評価の着眼点 (略) |
| 評価基準の考え方と評価の留意点 | 評価基準の考え方と評価の留意点 |
| (1) 目的 (略) | (1) 目的 (略) |
| (2) 趣旨・解説 | (2) 趣旨・解説 |

| 改正後 | 現行 |
|---|--|
| (略) | (略) |
| (社会的養護共通) ○薬品、刃物、電気製品など危険物の収納管理など、事故を未然に防ぐための取組を組織的に行なうことが大切です。 | (5種別共通) ○薬品、刃物、電気製品など危険物の収納管理など、事故を未然に防ぐための取組を組織的に行なうことが大切です。 |
| (3) 評価の留意点 (略) | (3) 評価の留意点 (略) |
| ○感染症に関するリスク（対策）については、次項「 <u>38 III—1—(5)—②</u> 」で評価します。 | ○感染症に関するリスク（対策）については、次項「 <u>III—1—(5)—②</u> 」で評価します。 |
| (社会的養護共通) ○保護者等からの強引な引き取りに備えた取組・対応にあたっては、児童相談所との連携や緊急の事態に備えて地域の警察との情報交換を日頃から行っているかにも留意します。 | (児童養護施設) ○保護者等からの強引な引き取りに備えた取組・対応にあたっては、児童相談所との連携や緊急の事態に備えて地域の警察との情報交換を日頃から行っているかにも留意します。 |
| <u>38 III—1—(5)—② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。</u> (略) | <u>38 III—1—(5)—② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。</u> (略) |
| <u>39 III—1—(5)—③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行なっている。</u> | <u>39 III—1—(5)—③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行なっている。</u> |
| 【判断基準】 (略) | 【判断基準】 (略) |
| 評価の着眼点 (略) | 評価の着眼点 (略) |
| 評価基準の考え方と評価の留意点 (1) 目的 (略) | 評価基準の考え方と評価の留意点 (1) 目的 (略) |

| 改正後 | 現行 |
|--|--|
| <p>(2) 趣旨・解説 (略)</p> <p>○通所・訪問や子育て支援に関する事業などを実施する施設では、災害発生時の安否確認について、他の施設や自治体等と連携して行う方法を決定・確認しておく必要があります。また、通所施設については、子どもや保護者等と話し合う、保護者等への引継ぎの方策などを決めておくことなどが求められます。</p> | <p>(2) 趣旨・解説 (略)</p> <p>○通所・訪問や子育て支援に関する事業などを実施する施設では、災害発生時の安否確認について、他の施設や自治体等と連携して行う方法を決定・確認しておく必要があります。また、通所施設については、子どもや保護者等と話し合う、保護者等への引継ぎの方策などを決めておくことなどが求められます。</p> |
| <p>(3) 評価の留意点 (略)</p> <p>III-2 養育・支援の質の確保</p> <p>III-2-(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。</p> <p>40 III-2-(1)-① 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。</p> <p>【判断基準】 (略)</p> | <p>(3) 評価の留意点 (略)</p> <p>III-2 養育・支援の質の確保</p> <p>III-2-(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。</p> <p>40 III-2-(1)-① 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。</p> <p>【判断基準】 (略)</p> |
| <p>評価の着眼点 (略)</p> <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的 (略)</p> <p>(2) 趣旨・解説 (略)</p> <p><u>(社会的養護共通)</u></p> | <p>評価の着眼点 (略)</p> <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的 (略)</p> <p>(2) 趣旨・解説 (略)</p> <p><u>(児童養護施設)</u></p> |

| 改正後 | 現行 |
|---|---|
| <p>○養育・支援についての標準的な実施方法は、継続的に検討され、その検討が記録されていることが求められます。検討結果は常に実施方法に反映するようにします。</p> | <p>○養育・支援についての標準的な実施方法は、継続的に検討され、その検討が記録されていることが求められます。検討結果は常に実施方法に反映するようにします。</p> |
| <p>(3) 評価の留意点 (略)</p> | <p>(3) 評価の留意点 (略)</p> |
| <p>41 Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。</p> | <p>41 Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。</p> |
| <p>【判断基準】 (略)</p> | <p>【判断基準】 (略)</p> |
| <p>評価の着眼点 (略)</p> | <p>評価の着眼点 (略)</p> |
| <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的 (略)</p> <p>(2) 趣旨・解説 (略)</p> <p>(3) 評価の留意点 (略)</p> <p>(社会的養護共通) ○見直しの時期は、少なくとも1年に1回は検証し、必要な見直しが行われているか確認します。</p> | <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的 (略)</p> <p>(2) 趣旨・解説 (略)</p> <p>(3) 評価の留意点 (略)</p> <p>(5種別共通) ○見直しの時期は、少なくとも1年に1回は検証し、必要な見直しが行われているか確認します。</p> |
| <p>Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。</p> | <p>Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。</p> |

| 改正後 | 現行 |
|--|--|
| <p>42 Ⅲ－2－(2)－① アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。</p> <p>【判断基準】 (略)</p> <p>評価の着眼点 (略)</p> <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的 (略)</p> <p>(2) 趣旨・解説 (略)</p> <p>(社会的養護共通) ○様式の中には、子どもの強みや長所など伸ばすことも記載すること、アセスメントは、子どもの担当職員をはじめ、個別対応職員、心理療法担当職員、家庭支援専門相談員などが参加するケース会議で合議して行うことが、大切です。</p> <p>(社会的養護共通) ○児童相談所等と援助方針について打ち合わせ、自立支援計画に反映することになっています。策定した自立支援計画は児童相談所等に提出し、共有しています。</p> <p>(社会的養護共通) ○自立支援計画には、支援上の課題と、問題解決のための支援目標と、目標達成のための具体的な支援内容・方法を定めています。支援目標は、子どもに理解できる目標として、表現し、努力目標として子どもに説明し、合意と納得を得て決まります。</p> | <p>42 Ⅲ－2－(2)－① アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。</p> <p>【判断基準】 (略)</p> <p>評価の着眼点 (略)</p> <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的 (略)</p> <p>(2) 趣旨・解説 (略)</p> <p>(5種別共通) ○様式の中には、子どもの強みや長所など伸ばすことも記載すること、アセスメントは、子どもの担当職員をはじめ、個別対応職員、心理療法担当職員、家庭支援専門相談員などが参加するケース会議で合議して行うことが、大切です。</p> <p>(5種別共通) ○児童相談所等と援助方針について打ち合わせ、自立支援計画に反映することになっています。策定した自立支援計画は児童相談所等に提出し、共有しています。</p> <p>(5種別共通) ○自立支援計画には、支援上の課題と、問題解決のための支援目標と、目標達成のための具体的な支援内容・方法を定めています。支援目標は、子どもに理解できる目標として、表現し、努力目標として子どもに説明し、合意と納得を得て決まります。</p> |

| 改正後 | 現行 |
|---|---|
| (略) | (略) |
| (社会的養護共通) ○策定された自立支援計画を、全職員で共有し、支援は統一かつ総合されたものとすることが大切です。 | (5種別共通) ○策定された自立支援計画を、全職員で共有し、支援は統一かつ総合されたものとすることが大切です。 |
| (3) 評価の留意点 (略) | (3) 評価の留意点 (略) |
| 43 Ⅲ－2－(2)－② 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。 | 43 Ⅲ－2－(2)－② 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。 |
| 【判断基準】 (略) | 【判断基準】 (略) |
| 評価の着眼点 (略) | 評価の着眼点 (略) |
| 評価基準の考え方と評価の留意点 | 評価基準の考え方と評価の留意点 |
| (1) 目的 (略) | (1) 目的 (略) |
| (2) 趣旨・解説 (略) | (2) 趣旨・解説 (略) |
| (社会的養護共通) ○計画の見直し時には、支援方法を振り返り、自己評価し、支援の成果について分析、検証を行い、専門性や技術の向上に努め、施設全体の支援の向上に反映させる仕組みを構築します。 | (5種別共通) ○計画の見直し時には、支援方法を振り返り、自己評価し、支援の成果について分析、検証を行い、専門性や技術の向上に努め、施設全体の支援の向上に反映させる仕組みを構築します。 |
| (社会的養護共通) ○アセスメントと計画の評価・見直しは、少なくとも半年ごとに定期的に行い、かつ緊急の見直しなど必要に応じて行うようにします。 | (5種別共通) ○アセスメントと計画の評価・見直しは、少なくとも半年ごとに定期的に行い、かつ緊急の見直しなど必要に応じて行うようにします。 |

| 改正後 | 現行 |
|--|---|
| (3) 評価の留意点 (略) III-2-(3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。 | (3) 評価の留意点 (略) III-2-(3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。 |
| 44 III-2-(3)-① 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。 | 44 III-2-(3)-① 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。 |
| 【判断基準】 (略) | 【判断基準】 (略) |
| 評価の着眼点 (略) | 評価の着眼点 (略) |
| 評価基準の考え方と評価の留意点 (1) 目的 (略) (2) 趣旨・解説 (略) ○情報の流れと共有化について組織的に管理することは、子どもの状態の変化や養育・支援内容が十分でない状況等に対して、速やかな対応を行うために欠かせないものです。 (社会的養護共通) ○子どもの強みや長所、あるいは発見などについて配慮しながら記録することが大切です。 (社会的養護共通) ○記録の共有化の範囲やルールをあらかじめ定めてあるか、また、状況に応じてその範囲を隨時検討します。 | 評価基準の考え方と評価の留意点 (1) 目的 (略) (2) 趣旨・解説 (略) ○情報の流れと共有化について組織的に管理することは、子どもの状態の変化や養育・支援内容の内容が十分でない状況等に対して、速やかな対応を行うために欠かせないものです。 (5種別共通) ○子どもの強みや長所、あるいは発見などについて配慮しながら記録することが大切です。 (5種別共通) ○記録の共有化の範囲やルールをあらかじめ定めてあるか、また、状況に応じてその範囲を隨時検討します。 |
| (3) 評価の留意点 | (3) 評価の留意点 |

| 改正後 | 現行 |
|--|--|
| (略) | (略) |
| 45 <u>III-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。</u> | 45 <u>III-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。</u> |
| (略) | (略) |

| 改正後 | 現行 |
|--|--|
| A-1 子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援 A-1-(1) 子どもの権利擁護 <u>A① A-1-(1)-① 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。</u> | A-1 子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援 A-1-(1) 子どもの権利擁護 <u>A① A-1-(1)-① 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。</u> |
| <p>【判断基準】</p> <p>a) 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。</p> <p>b) <u>子どもの権利擁護に関する取組が実施されているが、より質を高める取組が求められる。</u></p> <p>c) 子どもの権利擁護に関する取組が<u>徹底されていない。</u></p> | <p>【判断基準】</p> <p>a) 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。</p> <p>b) —</p> <p>c) 子どもの権利擁護に関する取組が<u>十分ではない。</u></p> |
| <p>評価の着眼点</p> <p>(略)</p> | <p>評価の着眼点</p> <p>(略)</p> |
| <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的 (略)</p> <p>(2) 趣旨・解説 <u>○自分から声を上げられない子どもの権利を保障するための取り組みは重要です。</u></p> | <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的 (略)</p> <p>(2) 趣旨・解説 <u>(新設)</u> (略)</p> |

| 改正後 | 現行 |
|--|--|
| (略) | |
| <p>○共生社会の形成に向けて、多様性の視点も大切です。それぞのもつ文化や性的指向、性自認の多様性を尊重するための学習の機会や取組を、施設としてどのように行っているかという点も大切な視点です。</p> | <p>(新設)</p> |
| <p>(3) 評価の留意点 (略)</p> | <p>(3) 評価の留意点 (略)</p> |
| <p>○子どもの権利擁護は、社会的養護関係施設の使命・役割の基本であり、法令で必須とされる事項です。よって、取組の重要性<u>を踏まえた適切な評価が求められます。</u></p> | <p>○子どもの権利擁護は、社会的養護関係施設の使命・役割の基本であり、虐待等の権利侵害を防止することは法令で必須とされる事項です。よって、取組の重要性<u>に鑑み、取組が十分でない場合には、「c」評価とします。</u></p> |
| (略) | (略) |
| <p>A-1-(2) 権利について理解を促す取組 A② A-1-(2)-① 子どもに対し、自他の権利について正しい理解を促す取組を実施している。 (略)</p> | <p>A-1-(2) 権利について理解を促す取組 A② A-1-(2)-① 子どもに対し、自他の権利について正しい理解を促す取組を実施している。 (略)</p> |
| <p>A-1-(3) 生い立ちを振り返る取組 (略)</p> | <p>A-1-(3) 生い立ちを振り返る取組 (略)</p> |
| <p>A-1-(4) 被措置児童等虐待の防止等 (略)</p> | <p>A-1-(4) 被措置児童等虐待の防止等 (略)</p> |
| <p>(削除)</p> | <p>A-1-(5) 子どもの意向や主体性への配慮 A⑤ A-1-(5)-① 職員と子どもが共生の意識を持ち、生活全般について共に考え、快適な生活に向けて子ども自身が主体的に取り組んでいる。</p> |

| 改正後 | 現行 |
|---|----|
| <p>【判断基準】</p> <p>a) 職員と子どもが共生の意識を持ち、生活全般について共に考え、快適な生活に向けて子ども自身が主体的に取り組んでいる。</p> <p>b) 職員と子どもが共生の意識を持ち、生活全般について共に考え、快適な生活に取り組もうとしているが、子ども自身が十分に主体的に取り組んでいるとはいえない。</p> <p>c) 職員と子どもが共生の意識がなく、共に考える機会を持たず、快適な生活に向けた取組を行っていない。</p> <p>評価の着眼点</p> <p>□快適な生活に向けての取組を職員と子どもが共に考え、自分たちで生活をつくっているという実感を持たせるとともに、施設の運営に反映させている。</p> <p>□子どもが自分たちの生活における問題や課題について主体的に検討する機会を日常的に確保している。</p> <p>□余暇の過ごし方について、子ども自身が自由に選択し、一人ひとりの趣味や興味に合った活動が行えるように支援している。</p> <p>□子どもの状況に応じて、金銭の管理や計画的な使い方などを学び、金銭感覚や経済観念が身につくよう支援している。</p> <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> | |

| 改正後 | 現行 |
|---|-----------------------|
| <p>(1) 目的</p> <p>○本評価基準では、子どもとの共生の意識や子どもの意向を尊重する姿勢で生活改善に取り組む職員のかかわりについて評価します。また、余暇の過ごし方、金銭の管理や使い方など、子どもが主体的に生活を営むことができるような支援について評価します。</p> <p>(2) 趣旨・解説</p> <p>○子どもが主体的に自分たちの生活について検討する意識を持つ事ができるように、日ごろから定期的に話し合いの機会を持ち、話し合いの風土の定着に心がけておく必要があります。</p> <p>○余暇時間の過ごし方を子ども自身が選択し、子どもの興味や趣味に合わせて自発的活動ができるよう、新しい体験や世界を広げるような活動への参加の機会を提供することも大切です。</p> <p>○経済観念の確立は子どもが社会化していくために基本となるものであり、発達の状況に応じて小遣いの管理や使い方等を通じて、具体的な体験をもとに習得させていくための援助が必要となります。</p> <p>○金銭の管理方法、買い物を通じて物の値段の相場を知る、小遣い帳をつけて計画的な使い方を学ぶ、通帳を使って貯金をするなど、日常生活において具体的な体験をさせることが求められます。</p> <p>(3) 評価の留意点</p> <p>○子どもからの要望等十分に聞く姿勢を持つつも、実施困難な事項については十分な説明をする機会を設けているかを確認します。</p> <p>○余暇時間の過ごし方においても、子どもの主体性を尊重しつつ支援していることを評価します。</p> | |
| A-1-(5) 支援の継続性とアフターケア | A-1-(6) 支援の継続性とアフターケア |

| 改正後 | 現行 |
|--|---|
| <p>A⑤ A－1－(5)－① 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、 不安の軽減を図りながら移行期の支援を行っている。</p> <p>【判断基準】 (略)</p> <p>評価の着眼点 (略)</p> <p>評価基準の考え方と評価の留意点 (略)</p> <p>A⑥ A－1－(5)－② 子どもが安定した社会生活を送ることができる ようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでい る。</p> <p>【判断基準】 (略)</p> <p>評価の着眼点 (略)</p> <p>評価基準の考え方と評価の留意点 (略)</p> | <p>A⑥ A－1－(6)－① 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、 不安の軽減を図りながら移行期の支援を行っている。</p> <p>【判断基準】 (略)</p> <p>評価の着眼点 (略)</p> <p>評価基準の考え方と評価の留意点 (略)</p> <p>A⑦ A－1－(6)－② 子どもが安定した社会生活を送ることができる ようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでい る。</p> <p>【判断基準】 (略)</p> <p>評価の着眼点 (略)</p> <p>評価基準の考え方と評価の留意点 (1) 目的 (略)</p> |

| 改正後 | 現行 |
|---|---|
| <p>(2) 趣旨・解説 (略)</p> <p><u>○自立支援のための国や都道府県の施策を活用するとともに、奨学金等、進路決定のための仕組みについて情報提供することも大切です。</u></p> | <p>(2) 趣旨・解説 (略)</p> <p><u>(新設)</u></p> |
| <p>(3) 評価の留意点 (略)</p> | <p>(3) 評価の留意点 (略)</p> |
| <p>A-2 養育・支援の質の確保</p> <p>A-2-(1) 養育・支援の基本</p> <p><u>A⑦ A-2-(1)-① 子どもを理解し、子どもが表出する感情や言動をしっかり受け止めている。</u></p> | <p>A-2 養育・支援の質の確保</p> <p>A-2-(1) 養育・支援の基本</p> <p><u>A⑧ A-2-(1)-① 子どもを理解し、子どもが表出する感情や言動をしっかり受け止めている。</u></p> |
| <p>【判断基準】 (略)</p> | <p>【判断基準】 (略)</p> |
| <p>評価の着眼点 (略)</p> | <p>評価の着眼点 (略)</p> |
| <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的 (略)</p> <p>(2) 趣旨・解説 (略)</p> | <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的 (略)</p> <p>(2) 趣旨・解説 (略)</p> |

| 改正後 | 現行 |
|--|---|
| (3) 評価の留意点 (略) | (3) 評価の留意点 (略) |
| A⑧ A-2-(1)-② 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活をいとなむことを通してなされるよう養育・支援している。 | A⑨ A-2-(1)-② 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活をいとなむことを通してなされるよう養育・支援している。 |
| 【判断基準】 (略) | 【判断基準】 (略) |
| 評価の着眼点 (略) | 評価の着眼点 (略) |
| 評価基準の考え方と評価の留意点 | 評価基準の考え方と評価の留意点 |
| (1) 目的 (略) | (1) 目的 (略) |
| (2) 趣旨・解説 (略) | (2) 趣旨・解説 (略) |
| (3) 評価の留意点 (略) | (3) 評価の留意点 (略) |
| A⑨ A-2-(1)-③ 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切にし、子ども <u>自身が自らの生活を主体的に考え、當むことができるよう支援している。</u> | A⑩ A-2-(1)-③ 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切にし、子ども <u>が自ら判断し行動することを保障している。</u> |
| 【判断基準】 a) 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切にし、子ども <u>自身が自</u> | 【判断基準】 a) 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切にし、子ども <u>が自ら判</u> |

| 改正後 | 現行 |
|---|---|
| <p><u>らの生活を主体的に考え、営むことができるよう支援している。</u></p> <p>b) 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切にし、<u>子ども自身が自らの生活を主体的に考え、営むことができるよう支援しているが、十分ではない。</u></p> <p>c) 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切にせず、<u>子ども自身が自らの生活を主体的に考え、営むことができるよう支援していない。</u></p> | <p><u>断し行動することを保障している。</u></p> <p>b) 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切にし、<u>子どもが自ら判断し行動することを保障しているが、十分でない。</u></p> <p>c) 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切にしていない。</p> |
| <p><u>評価の着眼点</u></p> | <p><u>評価の着眼点</u></p> |
| <p>□快適な生活に向けての取組を職員と子どもが共に考え、自分たちで生活をつくっているという実感を持たせるとともに、施設の運営に反映させている。</p> <p>□子どもが自分たちの生活における問題や課題について主体的に検討する機会を日常的に確保している。</p> <p>□子どもがやらなければならないことや当然できることについては、子ども自身が行うように見守ったり、働きかけたりしている。</p> | <p><u>(新設)</u></p> <p><u>(新設)</u></p> <p>□子どもがやらなければならないことや当然できることについては、子ども自身が行うように見守ったり、働きかけたりしている。</p> <p><u>□職員は必要以上の指示や制止をしていない。</u></p> |
| <p><u>(削除)</u></p> <p>□子どもを見守りながら状況を的確に把握し、賞賛、励まし、感謝、指示、注意等の声かけを適切に行っている。</p> <p>□つまずきや失敗の体験を大切にし、主体的に問題を解決していくよう支援し、必要に応じてフォローしている。</p> | <p>□子どもを見守りながら状況を的確に把握し、賞賛、励まし、感謝、指示、注意等の声かけを適切に行っている。</p> <p>□つまずきや失敗の体験を大切にし、主体的に問題を解決していくよう支援し、必要に応じてフォローしている。</p> <p><u>□朝・夕の忙しい時間帯にも、職員が子どもを十分に掌握、援助できるよ</u></p> |

| 改正後 | 現行 |
|---|---|
| <p><u>(削除)</u></p> <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> | <p><u>うに、職員の配置に配慮している。</u></p> <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> |
| <p>(1) 目的</p> <p>○本評価基準では、日常生活において職員が子どもの力を信じて見守る姿勢を大切にし、<u>子どもが主体的に生活を営むことができるよう支援が行われているか</u>を評価します。</p> <p>(2) 趣旨・解説</p> <p><u>(新設)</u></p> <p><u>(新設)</u></p> <p>○<u>子どもが主体的に自分たちの生活について検討する意識を持つ事ができるように、日ごろから定期的に話し合いの機会を持ち、話し合いの風土の定着に心がけておく必要があります。</u></p> <p>○<u>余暇時間の過ごし方を子ども自身が選択し、子どもの興味や趣味に合わせて自発的活動ができるよう、新しい体験や世界を広げるような活動への参加の機会を提供することも大切です。</u></p> <p>○子どもが自己肯定感を形成し、自己を向上発展していくことができるようになるためには、成長の過程で体験するさまざまなつまずきや失敗を、主体的に解決し乗り越えていくことが大切です。</p> <p>○施設では一般家庭と比して、一人の職員が掌握、援助しなければならない子どもの数が多いことも一因となって、子どもが、つまずいたり失敗したりしないように過干渉になってしまふことがあります。子どもは、できなかったことができるようになることで自己の成長を実感し、またそのことを職員が気づき認めてあげることで自己肯定感を高めています。</p> <p>○こうした体験を日常生活の中で数多く経験することが大切です。そのためにも、子どもの力を信じて見守るという姿勢が大切です。子どもは職員に信頼され見守られていると感じることによって、主体的に問題を解</p> | <p>(1) 目的</p> <p>○本評価基準では、日常生活において職員が子どもの力を信じて見守る姿勢を大切にし、<u>しているか</u>を評価します。</p> <p>(2) 趣旨・解説</p> <p><u>(新設)</u></p> <p>○子どもが自己肯定感を形成し、自己を向上発展していくことができるようになるためには、成長の過程で体験するさまざまなつまずきや失敗を、主体的に解決し乗り越えていくことが大切です。</p> <p>○施設では一般家庭と比して、一人の職員が掌握、援助しなければならない子どもの数が多いことも一因となって、子どもが、つまずいたり失敗したりしないように過干渉になってしまふことがあります。子どもは、できなかったことができるようになることで自己の成長を実感し、またそのことを職員が気づき認めてあげることで自己肯定感を高めています。</p> <p>○こうした体験を日常生活の中で数多く経験することが大切です。そのためにも、子どもの力を信じて見守るという姿勢が大切です。子どもは職員に信頼され見守られていると感じることによって、主体的に問題を解</p> |

| 改正後 | 現行 |
|---|--|
| <p>めにも、子どもの力を信じて見守るという姿勢が大切です。子どもは職員に信頼され見守られないと感じることによって、主体的に問題を解決していく力につけていくのです。</p> <p><u>(削除)</u></p> | <p>決していく力につけていくのです。</p> <p><u>〇国が認める小規模グループケアの生活単位は、子どもが6~8人で職員が2.5人とされています。</u></p> |
| <p>(3) 評価の留意点</p> <p>〇本評価基準については、直接養育の場面に立ち会って評価することが重要です。</p> <p>〇「見守り」、「放任」、「管理」、「過干渉」の意味について、評価者は理解しておく必要があります。</p> <p><u>〇子どもからの要望等十分に聞く姿勢を持つつも、実施困難な事項については十分な説明をする機会を設けているかを確認します。</u></p> <p><u>〇余暇時間の過ごし方においても、子どもの主体性を尊重しつつ支援していることを評価します。</u></p> | <p>(3) 評価の留意点</p> <p>〇本評価基準については、直接養育の場面に立ち会って評価することが重要です。</p> <p>〇「見守り」、「放任」、「管理」、「過干渉」の意味について、評価者は理解しておく必要があります。<u>見守りの姿勢を持ちながらも、子どもの育ちを守るために管理しなければならないこともあることに留意します。</u></p> <p><u>(新設)</u></p> <p><u>(新設)</u></p> |
| <p><u>△⑩ A-2-(1)-④ 発達の状況に応じた学びや遊びの場を保障している。</u></p> | <p><u>△⑪ A-2-(1)-④ 発達の状況に応じた学びや遊びの場を保障している。</u></p> |
| <p>【判断基準】 (略)</p> | <p>【判断基準】 (略)</p> |
| <p>評価の着眼点 (略)。</p> | <p>評価の着眼点 (略)</p> |

| 改正後 | 現行 |
|--|--|
| 評価基準の考え方と評価の留意点 | 評価基準の考え方と評価の留意点 |
| (1) 目的 (略) | (1) 目的 (略) |
| (2) 趣旨・解説 (略) | (2) 趣旨・解説 (略) |
| (3) 評価の留意点 (略) | (3) 評価の留意点 (略) |
| A⑪ A-2-(1)-⑤ 生活のいとなみを通して、基本的生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。 | A⑫ A-2-(1)-⑤ 生活のいとなみを通して、基本的生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。 |
| 【判断基準】 (略) | 【判断基準】 (略) |
| 評価の着眼点 (略) | 評価の着眼点 (略) |
| 評価基準の考え方と評価の留意点 | 評価基準の考え方と評価の留意点 |
| (1) 目的 (略) | (1) 目的 (略) |
| (2) 趣旨・解説 (略) | (2) 趣旨・解説 (略) |

| 改正後 | 現行 |
|--|--|
| (3) 評価の留意点 (略) | (3) 評価の留意点 (略) |
| A-2-(2) 食生活 <u>A⑫ A-2-(2)-① おいしく楽しみながら食事ができるように工夫している。</u> | A-2-(2) 食生活 <u>A⑬ A-2-(2)-① おいしく楽しみながら食事ができるように工夫している。</u> |
| 【判断基準】 (略) | 【判断基準】 (略) |
| 評価の着眼点 (略) | 評価の着眼点 (略) |
| 評価基準の考え方と評価の留意点 (1) 目的 (略) (2) 趣旨・解説 (略) (3) 評価の留意点 (略) | 評価基準の考え方と評価の留意点 (1) 目的 (略) (2) 趣旨・解説 (略) (3) 評価の留意点 (略) |
| A-2-(3) 衣生活 <u>A⑭ A-2-(3)-① 衣類が十分に確保され、子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。</u> | A-2-(3) 衣生活 <u>A⑯ A-2-(3)-① 衣類が十分に確保され、子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。</u> |
| 【判断基準】 | 【判断基準】 |

| 改正後 | 現行 |
|--|--|
| (略) | (略) |
| 評価の着眼点 (略) | 評価の着眼点 (略) |
| 評価基準の考え方と評価の留意点 (1) 目的 (略) (2) 趣旨・解説 (略) (3) 評価の留意点 (略) | 評価基準の考え方と評価の留意点 (1) 目的 (略) (2) 趣旨・解説 (略) (3) 評価の留意点 (略) |
| A-2-(4) 住生活 A⑭ A-2-(4)-① 居室等施設全体がきれいに整美され、安全、安心を感じる場所となるように子ども一人ひとりの居場所を確保している。 | A-2-(4) 住生活 A⑮ A-2-(4)-① 居室等施設全体がきれいに整美され、安全、安心を感じる場所となるように子ども一人ひとりの居場所を確保している。 |
| 【判断基準】 (略) | 【判断基準】 (略) |
| 評価の着眼点 (略) | 評価の着眼点 (略) |

| 改正後 | 現行 |
|--|--|
| 評価基準の考え方と評価の留意点 | 評価基準の考え方と評価の留意点 |
| (1) 目的 (略) | (1) 目的 (略) |
| (2) 趣旨・解説 (略) | (2) 趣旨・解説 (略) |
| (3) 評価の留意点 (略) | (3) 評価の留意点 (略) |
| A-2-(5) 健康と安全 | A-2-(5) 健康と安全 |
| △⑯ A-2-(5)-① 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、必要がある場合は適切に対応している。 | △⑯ A-2-(5)-① 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、必要がある場合は適切に対応している。 |
| 【判断基準】 (略) | 【判断基準】 (略) |
| 評価の着眼点 (略) | 評価の着眼点 (略) |
| 評価基準の考え方と評価の留意点 | 評価基準の考え方と評価の留意点 |
| (1) 目的 (略) | (1) 目的 (略) |
| (2) 趣旨・解説 (略) | (2) 趣旨・解説 (略) |

| 改正後 | 現行 |
|---|---|
| <p>(3) 評価の留意点</p> <p>○身体的な健康だけでなく、心理・情緒面での健康にも配慮した支援が行われているかを確認します。</p> <p>○子どもが自分の体調や病気、障害についてことばで表現でき、必要な治療や服薬についても理解できるよう支援が行われているかにも留意します。</p> <p><u>○また、医療機関のほか、療育支援を行う機関等との日常的な連携も考えられます。</u></p> | <p>(3) 評価の留意点</p> <p>○身体的な健康だけでなく、心理・情緒面での健康にも配慮した支援が行われているかを確認します。</p> <p>○子どもが自分の体調や病気、障害についてことばで表現でき、必要な治療や服薬についても理解できるよう支援が行われているかにも留意します。</p> <p><u>(新設)</u></p> |
| <p>A-2-(6) 性に関する教育</p> <p>A⑯ A-2-(6)-① 子どもの年齢・発達の状況に応じて、他者の性を尊重する心を育てるよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。</p> | <p>A-2-(6) 性に関する教育</p> <p>A⑰ A-2-(6)-① 子どもの年齢・発達の状況に応じて、他者の性を尊重する心を育てるよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。</p> |
| <p>【判断基準】</p> <p>(略)</p> | <p>【判断基準】</p> <p>(略)</p> |
| <p>評価の着眼点</p> <p>(略)</p> | <p>評価の着眼点</p> <p>(略)</p> |
| <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的 (略)</p> <p>(2) 趣旨・解説 (略)</p> | <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的 (略)</p> <p>(2) 趣旨・解説 (略)</p> |

| 改正後 | 現行 |
|--|--|
| (3) 評価の留意点 (略) | (3) 評価の留意点 (略) |
| A-2-(7) 行動上の問題及び問題状況への対応 <u>A⑯ A-2-(7)-① 子どもの暴力・不適応行動などの行動上の問題に対して、適切に対応している。</u> | A-2-(7) 行動上の問題及び問題状況への対応 <u>A⑯ A-2-(7)-① 子どもの暴力・不適応行動などの行動上の問題に対して、適切に対応している。</u> |
| 【判断基準】 (略) | 【判断基準】 (略) |
| 評価の着眼点 (略) | 評価の着眼点 (略) |
| 評価基準の考え方と評価の留意点 (1) 目的 (略) (2) 趣旨・解説 (略) (3) 評価の留意点 (略) | 評価基準の考え方と評価の留意点 (1) 目的 (略) (2) 趣旨・解説 (略) (3) 評価の留意点 (略) |
| <u>A⑯ A-2-(7)-② 施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。</u> | <u>A⑯ A-2-(7)-② 施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。</u> |
| 【判断基準】 (略) | 【判断基準】 (略) |

| 改正後 | 現行 |
|--|---|
| <p>評価の着眼点</p> <p>□問題の発生予防のために、施設内の構造、職員の配置や勤務形態のあり方について定期的に点検を行っており、不備や十分でない点は改善を行っている。</p> <p>□生活グループの構成には、子ども同士の関係性、年齢、障害などへの配慮の必要性等に配慮している。</p> <p>□課題のある子ども、入所間もない子どもの場合は特別な配慮が必要となることから、児童相談所と連携して個別援助を行っている。</p> <p>□大人（職員）相互の信頼関係が保たれ、子どもがそれを感じ取れるようになっている。子ども間での暴力やいじめが発覚した場合については、施設長が中心になり、全職員が一丸となって適切な対応ができるような体制になっている。</p> <p>□暴力やいじめに対する対応が施設だけでは困難と判断した場合には、児童相談所や他機関等の協力を得ながら対応している。</p> <p>□子ども間の性的加害・被害を把握し適切に対応している。</p> | <p>評価の着眼点</p> <p>□問題の発生予防のために、施設内の構造、職員の配置や勤務形態のあり方について定期的に点検を行っており、不備や十分でない点は改善を行っている。</p> <p>□生活グループの構成には、子ども同士の関係性、年齢、障害などへの配慮の必要性等に配慮している。</p> <p>□課題のある子ども、入所間もない子どもの場合は特別な配慮が必要となることから、児童相談所と連携して個別援助を行っている。</p> <p>□大人（職員）相互の信頼関係が保たれ、子どもがそれを感じ取れるようになっている。子ども間での暴力やいじめが発覚した場合については、施設長が中心になり、全職員が一丸となって適切な対応ができるような体制になっている。</p> <p>□暴力やいじめに対する対応が施設だけでは困難と判断した場合には、児童相談所や他機関等の協力を得ながら対応している。</p> <p>(新設)</p> |
| <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的 (略)</p> | <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的 (略)</p> |

| 改正後 | 現行 |
|---|--|
| <p>(2) 趣旨・解説 (略)</p> | <p>(2) 趣旨・解説 (略)</p> |
| <p>(3) 評価の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○<u>子ども間の暴力(性的暴力を含む)やいじめ、差別などが生じないよう、日頃から他人に対する配慮の気持ちや接し方、人権に対する意識を施設全体に徹底しているかを評価します。</u> ○子どもの遊びにも職員が積極的に関与するなどして子ども同士の関係性の把握に努め、いじめなどの不適切な関係に対しては適時介入することができているかも確認します。 | <p>(3) 評価の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○<u>子ども間の暴力やいじめ、差別などが生じないよう、日頃から他人に対する配慮の気持ちや接し方、人権に対する意識を施設全体に徹底しているかを評価します。</u> ○子どもの遊びにも職員が積極的に関与するなどして子ども同士の関係性の把握に努め、いじめなどの不適切な関係に対しては適時介入することができているかも確認します。 |
| <p>A-2-(8) 心理的ケア</p> <p>A⑯ A-2-(8)-① 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。</p> | <p>A-2-(8) 心理的ケア</p> <p>A⑰ A-2-(8)-① 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。</p> |
| <p>【判断基準】 (略)</p> | <p>【判断基準】 (略)</p> |
| <p>評価の着眼点 (略)</p> | <p>評価の着眼点 (略)</p> |
| <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的 (略)</p> <p>(2) 趣旨・解説 (略)</p> | <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的 (略)</p> <p>(2) 趣旨・解説 (略)</p> |

| 改正後 | 現行 |
|--|--|
| (3) 評価の留意点 (略) A-2-(9) 学習・進学支援、進路支援等 A⑯ A-2-(9)-① 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。 | (3) 評価の留意点 (略) A-2-(9) 学習・進学支援、進路支援等 A⑯ A-2-(9)-① 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。 |
| 【判断基準】 (略) | 【判断基準】 (略) |
| 評価の着眼点 (略) | 評価の着眼点 (略) |
| 評価基準の考え方と評価の留意点 (1) 目的 (略) (2) 趣旨・解説 (略) (3) 評価の留意点 (略) A⑯ A-2-(9)-② 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。 | 評価基準の考え方と評価の留意点 (1) 目的 (略) (2) 趣旨・解説 (略) (3) 評価の留意点 (略) A⑯ A-2-(9)-② 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。 |
| 【判断基準】 | 【判断基準】 |

| 改正後 | 現行 |
|---|---|
| (略) | (略) |
| 評価の着眼点 (略) | 評価の着眼点 (略) |
| 評価基準の考え方と評価の留意点 (1) 目的 (略) (2) 趣旨・解説 (略) (3) 評価の留意点 (略) | 評価基準の考え方と評価の留意点 (1) 目的 (略) (2) 趣旨・解説 (略) (3) 評価の留意点 (略) |
| A② A-2-(9)-③ 職場実習や職場体験、アルバイト等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。 | A③ A-2-(9)-③ 職場実習や職場体験、アルバイト等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。 |
| 【判断基準】 (略) | 【判断基準】 (略) |
| 評価の着眼点 (略) | 評価の着眼点 (略) |
| 評価基準の考え方と評価の留意点 | 評価基準の考え方と評価の留意点 |

| 改正後 | 現行 |
|--|--|
| (1) 目的 (略) | (1) 目的 (略) |
| (2) 趣旨・解説 (略) | (2) 趣旨・解説 (略) |
| (3) 評価の留意点 (略) | (3) 評価の留意点 (略) |
| A-2-(1O) 施設と家族との信頼関係づくり A ^㉓ A-2-(1O)-① 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、 家族からの相談に応じる体制を確立している。 | A-2-(1O) 施設と家族との信頼関係づくり A ^㉔ A-2-(1O)-① 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、 家族からの相談に応じる体制を確立している。 |
| 【判断基準】 (略) | 【判断基準】 (略) |
| 評価の着眼点 (略) | 評価の着眼点 (略) |
| 評価基準の考え方と評価の留意点 | 評価基準の考え方と評価の留意点 |
| (1) 目的 (略) | (1) 目的 (略) |
| (2) 趣旨・解説 (略) | (2) 趣旨・解説 (略) |
| (3) 評価の留意点 | (3) 評価の留意点 |

| 改正後 | 現行 |
|---|---|
| (略) | (略) |
| A-2-(11) 親子関係の再構築支援 | A-2-(11) 親子関係の再構築支援 |
| A② A-2-(11)-① 親子関係の再構築等のために家族への支援に 積極的に取り組んでいる。 | A② A-2-(11)-① 親子関係の再構築等のために家族への支援に 積極的に取り組んでいる。 |
| <p>【判断基準】</p> <p>(略)</p> | <p>【判断基準】</p> <p>(略)</p> |
| <p>評価の着眼点</p> <p>(略)</p> | <p>評価の着眼点</p> <p>(略)</p> |
| <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的 (略)</p> <p>(2) 趣旨・解説 (略)</p> <p>(3) 評価の留意点 (略)</p> | <p>評価基準の考え方と評価の留意点</p> <p>(1) 目的 (略)</p> <p>(2) 趣旨・解説 (略)</p> <p>(3) 評価の留意点 (略)</p> |

第三者評価共通評価基準（児童養護施設版）

I 養育・支援の基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。

① I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。

I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。

② I-2-(1)-① 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。

③ I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。

I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。

④ I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。

⑤ I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。

⑥ I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。

⑦ I-3-(2)-② 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。

I-4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。

⑧ I-4-(1)-① 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。

⑨ I-4-(1)-② 評価結果にもとづき施設として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。

II 施設の運営管理

II-1 施設長の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 施設長の責任が明確にされている。

⑩ II-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。

⑪ II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。

II-1-(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。

⑫ II-1-(2)-① 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。

[13] II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。

II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。

[14] II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。

[15] II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。

II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

[16] II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

[17] II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。

[18] II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。

[19] II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。

II-2-(4) 実習生等の養育・支援に関する専門職の研修・育成が適切に行われている。

[20] II-2-(4)-① 実習生等の養育・支援に関する専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。

II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。

[21] II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。

[22] II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。

II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。

[23] II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。

[24] II-4-(1)-② ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。

II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。

[25] II-4-(2)-① 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。

II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

[26] II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。

[27] II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。

III 適切な養育・支援の実施

III-1 子ども本位の養育・支援

III-1-(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。

28 III-1-(1)-① 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。

29 III-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。

III-1-(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。

30 III-1-(2)-① 子どもや保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。

31 III-1-(2)-② 養育・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。

32 III-1-(2)-③ 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。

III-1-(3) 子どもの満足の向上に努めている。

33 III-1-(3)-① 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。

III-1-(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。

34 III-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。

35 III-1-(4)-② 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。

36 III-1-(4)-③ 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。

III-1-(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。

37 III-1-(5)-① 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。

38 III-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。

39 III-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。

III-2 養育・支援の質の確保

III-2-(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。

40 III-2-(1)-① 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。

41 III-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。

III-2-(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。

42 III-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定し

ている。

43 III-2-(2)-② 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。

III-2-(3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。

44 III-2-(3)-① 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。

45 III-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。

第三者評価内容評価基準（児童養護施設版）

A-1 子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

A-1-(1) 子どもの権利擁護

A① A-1-(1)-① 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。

A-1-(2) 権利について理解を促す取組

A② A-1-(2)-① 子どもに対し、自他の権利について正しい理解を促す取組を実施している。

A-1-(3) 生い立ちを振り返る取組

A③ A-1-(3)-① 子どもの発達状況に応じ、職員と一緒に生い立ちを振り返る取組を行っている。

A-1-(4) 被措置児童等虐待の防止等

A④ A-1-(4)-① 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。

A-1-(5) 支援の継続性とアフターケア

A⑤ A-1-(5)-① 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、不安の軽減を図りながら移行期の支援を行っている。

A⑥ A-1-(5)-② 子どもが安定した社会生活を送ることができるようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。

A-2 養育・支援の質の確保

A-2-(1) 養育・支援の基本

A⑦ A-2-(1)-① 子どもを理解し、子どもが表出する感情や言動をしっかり受け止めている。

A⑧ A-2-(1)-② 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活をいとなむことを通してなされるよう養育・支援している。

A⑨ A-2-(1)-③ 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切にし、子ども自身が自らの生活を主体的に考え、営むことができるよう支援している。

A⑩ A-2-(1)-④ 発達の状況に応じた学びや遊びの場を保障している。

A⑪ A-2-(1)-⑤ 生活のいとなみを通して、基本的生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。

A-2-(2) 食生活

A⑫ A-2-(2)-① おいしく楽しみながら食事ができるように工夫している。

A-2-(3) 衣生活

A⑬ A-2-(3)-① 衣類が十分に確保され、子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。

A-2-(4) 住生活

A⑭ A-2-(4)-① 居室等施設全体がきれいに整美され、安全、安心を感じる場所となるように子ども一人ひとりの居場所を確保している。

A-2-(5) 健康と安全

A⑮ A-2-(5)-① 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、必要がある場合は適切に対応している。

A-2-(6) 性に関する教育

A⑯ A-2-(6)-① 子どもの年齢・発達の状況に応じて、他者の性を尊重する心を育てるよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。

A-2-(7) 行動上の問題及び問題状況への対応

A⑰ A-2-(7)-① 子どもの暴力・不適応行動などの行動上の問題に対して、適切に対応している。

A⑱ A-2-(7)-② 施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。

A-2-(8) 心理的ケア

A⑲ A-2-(8)-① 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。

A-2-(9) 学習・進学支援、進路支援等

A⑳ A-2-(9)-① 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。

A㉑ A-2-(9)-② 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。

A㉒ A-2-(9)-③ 職場実習や職場体験、アルバイト等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。

A-2-(10) 施設と家族との信頼関係づくり

A㉓ A-2-(10)-① 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。

A-2-(11) 親子関係の再構築支援

A㉔ A-2-(11)-① 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。